

6. 北陸（地域別調査機関：（財）北陸経済研究所）

（ - : 回答が存在しない、 : 主だった回答等が存在しない）

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
家計 動向 関連	良く なっている	競輪場（職員）	単価の動き	・3か月前と比べ1日当たり入場者数はほぼ同じであったが、同売上高では+19.3%、1人当たり売上単価では+19.2%と大幅に増加した。ゴールデンウィーク中の来場者に現役世代が多かったことが要因である。
	やや良く なっている	衣料品専門店 （経営者）	販売量の動き	・エスニック調などの夏物衣料が順調に売れており、売上は前年を上回っている。
		都市型ホテル （スタッフ）	来客数の動き	・レストランの企画商品の販売が好調で客足が伸びているほか、一般宴会件数が増加している。
	変わらない	百貨店（営業担当）	販売量の動き	・能登半島地震の影響に若干回復の兆しが見えている。ただ季節の端境期のヒット商品がなく、春の売れ筋をそのまま継続しているため、販売量が落ちている。
			百貨店（営業担当）	お客様の様子
		スーパー（店長）	単価の動き	・客の動きは変わらないが、ガソリン価格の値上げの影響により客単価が伸び悩んでいる。
		スーパー（営業担当）	来客数の動き	・天候にも恵まれ、客の動きは良かった。一方、一品単価の低下により買上点数が若干増加したが、客単価は横ばいで、安く販売しても売上の効果が出ない。
		スーパー（副店長）	単価の動き	・来客数は前年同月の99%、客単価は同101%である。
		家電量販店（店長）	単価の動き	・販売数量は変わらないが、客単価が上がっている。
		家電量販店（店員）	それ以外	・自社の競合店がオープンしたため、売上が減少した。
		乗用車販売店（総務担当）	販売量の動き	・当社の新車登録は前年を大きく下回る見込みである。4月からの受注残が少ないことに加え、当月の受注量も前年より少なめである。
		乗用車販売店（営業担当）	単価の動き	・1台当たり単価と販売台数は前年に比べ約10%ダウンしている。
		一般レストラン（スタッフ）	来客数の動き	・5月中旬から暑い日が続いたため、夏メニューが売れ始め、ゴールデンウィーク後半から徐々に能登半島地震発生前の状況にまで回復してきた。
		スナック（経営者）	来客数の動き	・前月に続き、「景気は良くない」という客の会話が聞かれた。 ・複数の団体客の来店で、比較的良かった前年同月の売上を若干上回った。
		都市型ホテル（スタッフ）	販売量の動き	・宴会は好調であるが、レストランは低迷しており、全体では横ばい状態である。
		旅行代理店（従業員）	来客数の動き	・能登半島地震のマイナスの影響を懸念したが、来客数は3か月前と変わらない。
	その他レジャー施設（職員）	来客数の動き	・ゴールデンウィークは曜日の配列の関係もあり、県外の観光客が減ったため来客数が伸びなかった。また天気が非常に良かったため、客はお金の掛からないレジャーに出かけたようだ。	
	住宅販売会社（従業員）	来客数の動き	・連休中の来客数は前年より減少したが、住宅ローン金利の上昇気配もあり、住宅取得を真剣に検討している客からは受注が来ている。	
	住宅販売会社（総務担当）	お客様の様子	・客の動きはあるものの、物件に対する選別志向には変化がない。客の希望にマッチする物件は動きが早い。	
	やや悪く なっている	商店街（代表者）	来客数の動き	・新しい百貨店を核店舗とする再開ビルが近くでオープンするまで、来客数の減少傾向が続く。
商店街（代表者）		競争相手の様子	・最近「売れる店」の数が減少しているため、商店街全体の集客力が落ちてきている。	
一般小売店〔鮮魚〕（従業員）		販売量の動き	・一部の納入先に回復の兆しが見え始めているが、依然として能登半島地震などによる消費の縮小が見られる。	

	百貨店（売場主任）	お客様の様子	・まとめ買いが減少し、夕方5時以降の客の引きが早くなっている。	
	スーパー（店長）	それ以外	・来客数の減少にもかかわらず、生鮮食品の販売量はあまり変わっていない。しかし、特売商品の販売量が激減している。大手資本のスーパーが3店もオープンするなど、前年に比べ競合状況は大きく悪化している。	
	スーパー（店長）	来客数の動き	・客単価、来客数共に前年割れとなり、他業態に客を奪われている。	
	コンビニ（経営者）	お客様の様子	・好天に恵まれたため商環境は良かったが、ゴールデンウィーク後半は全く振るわなかった。また天気予報の外れが多く、週末の発注を抑えた結果、好天で品切れが続出し、悪循環に陥った。このため、売上は前年比93%、来客数は同95%と大変苦戦した。 ・これまで順調であったヘビーユーザーの禁煙の増加により、たばこの売上は大幅に減少した。「小遣い不足」よりも「健康のため」とする理由が多かった。	
	コンビニ（店長）	単価の動き	・来客数はほとんど変わらないが、客単価が若干低下したため、売上が伸び悩んだ。	
	衣料品専門店（経営者）	来客数の動き	・ゴールデンウィーク中も、商店街の通行客数、来客数が、共に低調であった。消費に勢いが感じられない。	
	乗用車販売店（経理担当）	販売量の動き	・受注件数が前年同月に比べ相当減少している。	
	自動車備品販売店（従業員）	販売量の動き	・客の購買力が弱くなっている。特にゴールデンウィーク後の落ち込みが大きく、前年割れを引き起こす商品も多々ある。	
	高級レストラン（スタッフ）	販売量の動き	・連休中は県外からの来客数が減少したが、ゴールデンウィーク以降の動きは例年と変わらない。	
	観光型旅館（経営者）	販売量の動き	・能登半島地震の発生後、5、6月の個人の新規予約数が伸びてこない。	
	旅行代理店（従業員）	販売量の動き	・能登半島地震の影響を受けて、団体旅行は実施時期を先延ばしする傾向にある。	
	通信会社（役員）	販売量の動き	・デジタルテレビの初期需要が一巡したのではないかととの観測が出ているなかで、ケーブルテレビのデジタル契約の獲得動向にも一服感が見られる。	
悪くなっている	百貨店（売場担当）	販売量の動き	・目玉商品などのセールでも、客は相当吟味しており、安さだけでは買わないという厳しさが見られる。	
	乗用車販売店（経営者）	お客様の様子	・多くの商談では購入条件、特に値引きや下取り価格の重要度が高くなってきた。また、競争相手としてインターネットや首都圏地区のディーラーとの条件を比較されるケースが増えている。	
	通信会社（営業担当）	販売量の動き	・携帯電話のキャンペーンが進み、本来であれば販売量も増加するはずであるが、既に購入済みの客や新端末の発売待ちで購入を控えている客が目立つ。	
企業動向関連	良くなっている	-	-	
	やや良くなっている	繊維工業（経営者）	受注量や販売量の動き	・高機能のスポーツ衣料と非衣料商品が安定的に推移している。
	変わらない	食料品製造業（企画担当）	受注量や販売量の動き	・高付加価値商材の荷動きが顕著である。
		一般機械器具製造業（総務担当）	取引先の様子	・国内の引き合いで競合メーカーの納期が早くなっているとの声が客から聞かれる。
		電気機械器具製造業（経理担当）	競争相手の様子	・4月後半以降、当社の受注は非常に増加しているが、競争相手では2月以降ほとんど上向いていない。
		精密機械器具製造業（経営者）	受注量や販売量の動き	・眼鏡の受注量に大きな変化がなく、ほぼ年当初の計画水準で推移している。
		輸送業（配車担当）	受注価格や販売価格の動き	・荷動きは3か月前と変わらず、順調にきている。
		司法書士	取引先の様子	・3月決算会社の計算書類から見ると、法人の状況は全体的に悪くないようである。しかし、住宅建設の案件が少ないことや、多重債務の相談も多いことなどから、個人的レベルでは良くなっているとは言えない。

	やや悪くなっている	建設業（総務担当）	競争相手の様子	・資材価格や外注工賃の上昇が続く半面、受注価格競争は依然として、し烈な状況となり、価格転嫁もできず、採算の確保がますます厳しくなっている。
		税理士（所長）	受注価格や販売価格の動き	・建設業を始め、機械レンタルなどの関連企業でも安値合戦が続いている。原油価格の高騰や住民税の増額などによる消費低迷を背景に、中小企業の業況は不安定である。
	悪くなっている	化学工業（総務担当）	取引先の様子	・大口取引先からの受注が極端に減少している。
		建設業（経営者）	受注量や販売量の動き	・3か月前は、年度末に近づき、それなりに手持ちの仕事量があり、作業者が遊ぶということとはなかった。しかし、年度が替わった4、5月は仕事量が少なくなり、工事現場が皆無という日もあった。地元で工事が無くなり、廃業する業者も増えてきた。
雇用 関連	良くなっている	-	-	-
	やや良くなっている	-	-	-
	変わらない	人材派遣会社（社員）	求職者数の動き	・紹介予定派遣の動きが徐々に増えてきている。一般の需要については、依然として高い技術力を持つ人を望む声強いが、人材不足で応じ切れない状態である。
		人材派遣会社（社員）	求人数の動き	・求人数が依然として堅調なことや人材不足が続いているためか、派遣スタッフからは給与水準、職種、労働条件等の向上に関する希望が目立つ。
		職業安定所（職員）	求職者数の動き	・新規求職者数は引き続き減少傾向にあり、新規求人数も増加幅が小さくなっている。このため、有効求人倍率はここ数か月、緩やかな減少傾向で推移している。
		民間職業紹介機関（経営者）	求人数の動き	・求人数は横ばい状態が続いている。登録者数も低調で、人材不足が続いている。
	やや悪くなっている	職業安定所（職員）	周辺企業の様子	・製造業において、大企業の外注費抑制、内製化のありを受け下請事業所の企業整備が続いた。
悪くなっている	新聞社〔求人広告〕（担当者）	求人数の動き	・5月の求人広告の売上は前年の8割弱である。	